

江戸の科学

— 幕末福井の好奇心 —

- 会場 2階 企画展示室
- 会期 平成17年7月16日(土)～9月4日(日)

幕末から明治にかけて、わが国は海外の知識・技術を積極的に導入し、近代化を進めました。新しい知識・技術と伝統的な学問・技とが融合し、独自の文化が生まれました。

特別展では、当館に収蔵する初期写真資料、医学所「済世館」のキュンストレーキ、松平春嶽所用の科学器具などを通して、福井藩における新しい知識・技術の受容と人々の好奇心を浮き彫りにします。

初期写真資料

幕末に渡来した写真は、長崎・横浜・函館などの開港地を中心に広まり、写ることの驚きから写すことへの挑戦が始まりました。

福井藩の場合は、横浜で写真術を習得し、わが国最初の営業写真家となったぎよくせん鵜飼玉川(文久元年1861、江戸両国で開業)に写真術を学び、藩主から藩士層へと利用が広がりました。

また、文久3年(1863)頃には美濃の写真師によって福井城下へ、写真機がもたらされています。独特の外観と美しい模様ついでしゅ ついきんの写真機は堆朱(堆錦)カメラと呼ばれ、国内で4台が確認されています(現存3台)。いずれも同一製作者によるもので、外国製カメラを手本に、指物・金工・塗り・玉細工(レンズ)等の伝統技術を駆使して製作された、最古級の国産写真機です。



「アメリカンタイプ・ダゲレオタイプカメラ」
日本カメラ博物館蔵



「福井の堆朱(堆錦)カメラ」

松平春嶽の科学器具



「松平春嶽所用の科学器具」

福井藩主松平春嶽は、藩政改革にあたって藩外から蘭方医坪井信良^{しんりょう}・蘭学者市川斎宮^{いつき}・機械技術者大野規周^{のりちか}等を招き、西洋の知識・技術の導入に当らせました。春嶽自身も、日常生活で寒暖計や気圧計を使用するなど、新しい文物を積極的に取り入れています。また、近代化にあたって度量衡制度の確立が不可欠とし、明治元年4月2日に度量衡に関する建議を行っていることは、あまり知られていません。

春嶽の手許に残された科学器具の中には、のちに明治度量衡制度の立案に関わり、度量衡の標準機器を製作した、大野規周製作のものも含まれています。春嶽の建議の背景には、規周等の影響が大きかったと思われます。

記念講演会① 「福井のキュンストレーキ」(仮題)

日時 7 / 31(日)
午後2時～ *20分前開場
場所 講堂(2階)
講師 月澤美代子 氏
(順天堂大学医学部教授)
定員 90人 当日受付(先着順)

記念講演会② 「松平春嶽の科学器具」(仮題) とカラクリ人形実演

日時 8 / 13(土) 午後2時～
場所 福井県国際交流会館
講師 鈴木一義 氏
(国立科学博物館主任研究官)
*カラクリ人形実演：三河屋
定員 120人 予約受付中(先着順)

記念講演会③ 「福井の堆朱カメラ」(仮題)

日時 8 / 27(土)
午後2時～ *20分前開場
場所 講堂(2階)
講師 高橋則英 氏
(日本大学芸術学部教授)
定員 90人 当日受付(先着順)

医学所「済世館」のキュンストレーキ

フランスの解剖学者オザー（1797～1880）によって考案（1825年発表）された紙製の人体解剖模型は、キュンストレーキあるいはキンストレーキと呼ばれています。幕末から明治にかけて数体が輸入され、福井藩では万延元年（1860）に男体を、明治2年（1869）に女体を購入しています（国内に4体現存）。

わが国の医療・医学は、西洋医学の採用によって大きな転換期を迎えました。人体解剖は、体系的西洋医学の最も基本的な学と位置付けられ、人体に代わるものとして用いられたのがキュンストレーキでした。

そのリアルな教材は、西洋そのものであり、日本人の人体観を大きく塗り替えました。



「福井藩購入のキュンストレーキ」

子どもカラクリ教室 （カラクリ人形実演）

日時 8/14日 午前11時～
午後2時～

場所 講堂（2階）

講師 日根之和氏

（前新潟県立自然科学館々長）ほか

定員 各60人 予約受付中（先着順）

対象 小・中学生（保護者同伴）

■ 記念図録 予約受付中（9月刊行予定）

書名 『なるほど福井の好奇心

－幕末の写真・科学器具・人体模型－』

内容 記念講演会の各講演録ほか、関係資料図版を満載。親子で読める入門図録。

販価 1,300円（予定） A4判 約90頁

展示品目録

※ 資料保護のため、展示品の入れ替えを行うことがあります。

初期写真資料				
1	横井小楠肖像写真	1点	個人蔵	(文久元年)、ガラス湿板
2	松平春嶽筆「江越百余里云々」の詩扁額	1額	個人蔵	文久元年
3	横井小楠銅版肖像画	1点	福井市春嶽公記念文庫	明治22年
4	勇姫肖像写真	2点	福井市春嶽公記念文庫	(文久2年)
5	(松平春嶽か)肖像写真	1点	当館蔵	(文久2年)
6	酒井外記肖像写真	2点	個人蔵	文久2年、ガラス湿板
7	青松院肖像写真	1点	福井市春嶽公記念文庫	(慶応3年)、ガラス湿板
8	勇姫肖像写真	1点	福井市春嶽公記念文庫	(慶応3年)、ガラス湿板
9	中根牛介肖像写真	1点	当館蔵	(元治元年～慶応)、ガラス湿板
10	磯野近肖像写真(パネル展示)	1点	個人蔵	(元治元年～慶応)
11	笹川正辰肖像写真(パネル展示)	1点	個人蔵	慶応2年、ガラス湿板
12	萩原縫肖像写真	1点	福井市春嶽公記念文庫	大正期複写
13	粕元肖像写真	1点	福井市春嶽公記念文庫	大正期複写
14	中根雪江肖像写真	1点	福井市春嶽公記念文庫	明治2年、鶏卵紙
15	酒井外記肖像写真	1点	個人蔵	明治初期福井城下、ガラス湿板
16	福井城下写真	8点	福井市春嶽公記念文庫	一乗町写真師「旭斎」撮影
17	写真帳「写真本」	1綴	当館蔵	明治初期
18	アメリカンタイプ・ダゲレオタイプカメラ	1台	日本カメラ博物館蔵	19世紀
19	堆朱(堆錦)カメラ	1台	日本カメラ博物館蔵	万延元年前後
20	堆朱(堆錦)カメラ	1台	個人蔵	万延元年前後
21	堆朱(堆錦)カメラ	1台	当館蔵	万延元年前後
22	笠原健蔵筆「故白翁履歴大略」	1綴	当館蔵	
23	『アサヒグラフ』臨時増刊号	1冊	個人蔵	大正14年写真百年祭記念号
松平春嶽の科学器具				
24	遠眼鏡	1点	福井市春嶽公記念文庫	14代藩主斉承夫人浅姫遺品
25	歩度計・磁石	2点	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽実父田安斉匡遺品
26	磁石(2点)・遠眼鏡<極小玩具>	3点	福井市春嶽公記念文庫	将軍家斉・家慶より拝領
27	オルゴール付置時計	1点	福井市春嶽公記念文庫	将軍家慶より拝領
28	松平春嶽所用科学器具類	30件	福井市春嶽公記念文庫	挟み尺、換算尺ほか
29	松平春嶽小物手回り品	1箱	福井市春嶽公記念文庫	
30	銀瓶	1点	福井市春嶽公記念文庫	大野規周
医学所「済世館」のキュンストレーキ				
31	楊心流胴譯図	2巻	越葵文庫	(享保6～9年)
32	『重訂解体新書』	13綴	当館蔵	杉田玄白新訳、大槻玄沢重訂
33	『眼科新書』	1綴	当館蔵	杉田立卿訳述、文化12年
34	『解臈図賦』	1綴	当館蔵	池田冬蔵著、嘉永2年再刻
35	「解臈雑費録」	1綴	個人蔵	安政2年
36	『解臈図記』(影写本)	1綴	国文学研究資料館蔵	(原本：文久2年)
37	キュンストレーキ	2体	当館蔵	医学校「済世館」旧蔵
38	キュンストレーキ写真	1点	越葵文庫	
39	加賀藩購入クスンストレーキ(パネル展示)	1点	金沢大学提供	
40	ジョンストン人体解剖掛図	2幅	福井市医師会蔵	医学校「済世館」旧蔵

【次回の展示】

－企画展示室－

越前松平家ゆかりの刀剣

10／1(土)～11／7(月)

－松平家史料展示室－

近世越前の刀工たち

10／1(土)～11／7(月)

企画展示室 展示解説シート No.12

平成17年7月16日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1

電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489

担当 西村 英之

制作／吉田錦文堂